# **診してていたい** レガシーパネルインターフェース取り付けガイド

### UA-CS-LX 設置手順

注記:レガシーパネルインターフェースは、システム全体のアップグレードの、コンポーネントの1つです。既存のシステムを変更 する場合は、事前に最寄りのLutron営業担当者に連絡して、サイトの準備状況とシステムのアップグレードスケジュールを確認 してください。

取り付けは、交換するコントローラのタイプによって異なります。既存のコントローラータイプを特定したら、以下の該当する手順に従ってください。インストール後には、Athenaプログラミングソフトウェアを使用してレガシーパネルインターフェースを構成し、試運転をします。

レガシーパネルインターフェースを使用して既存のシステムをAthenaにアップグレードする際の考慮事項については、最寄りのLutron営業担当者またはシステム営業エンジニアにお問い合わせください。



### 追加情報:

**UTRON** 

以下のリングをクリックすると、各セクションに移動します。

#### Athena

#### UA-CS-LX

# 概要

#### 1: QS Link

有線通信には、Athena プロセッサに接続します

- 端子「1」、「3」、「4」のみを接続します
   この装置は、QS Linkの装置制限における装置の1台としてカウントされます
- る装置の1台としてカウントされます ・制御リンクの各スイッチレッグは、QS Linkのスイッチレッグ制限にカウントさ れます
- システムルールについては、 www.lutron.comのLutron仕様提出文 書部品番号369821を参照してください

### 2:非常スイッチ

非常用照明のパネルタイプを、ローカ ルで構成します

- \*オーバーライド/無効化

### 3: LED

- 製品ステータスのフィードバックを提供 します
- **QS**:QS Link通信を示します
- 追加情報については、18ページのトラブ ルシューティングのセクションを参照して ください

### 4:制御リンク

GPカードとローカル制御モジュール への、スイッチレッグ制御の有線接続 です。 Control LINK1(左)とControl LINK2(右)



#### **注記:**電源が投入されていると、電源LEDが常に点灯します。LEDは、パネル電源インジケータとして使用しないでください。端子 やコネクタを取り扱う場合は、必ず事前にパネルの電源を切ってください。

注記:配線は全てNEC。製クラス2です。適切な回路分離と保護のために、国および地域で該当するすべての規則に従ってください。

#### Athena



<sup>1</sup> レガシーパネルインターフェースは、24 V==でも駆動できます。

# LCP/XPSコントローラー

**警告:**感電の危険。重傷または死亡に至る恐れがあります。ユニットを設置する場合は、事前に回路ブレーカーの電源を切ってください。

\_\_\_\_\_ 注記:既存のシステムを変更する場合は、事前に最寄りのLutron営業担当者に連絡して、サイトの準備状況とシステムのアップグレードスケジュールを確認して ください。

1	配線を、既存のコントローラーから取り外します。	D
Α	左下のAC1端子とAC2端子からの配線クラス 2 / PELV 24 V~のネジを外します。	
В	コントローラーの下部から、LINK1制御リンクハーネス を取り外します。	
С	既存のコントローラーに制御リンクハーネスが2つあ る場合:	
	制御リンクが従来のパネルインターフェースに正しく 接続されるように、LINK2制御リンクハーネスにタグを 付けてます。	
	既存のコントローラーから、LINK2制御リンクハーネス を取り外します。	
D	6ピン通信端子台を、既存のコントローラーから抜きます。	
Е	スイッチ(S1)の位置を記録します。これは、ステップ9E で使用します。	
F	パネル接点クロージャー入力コネクタを、既存のコン トローラーから抜きます。	
	注記:レガシーパネルインターフェースには、同等の接触クロージャ入力がありません。詳細については、最寄りのLutron営業担当者またはシステム営業エンジニアにお問い合わせください。	$\langle$



次のページでLCP/XPSコントローラーの交 換を続けるには、ここをクリックしてくださ い...

# LCP/XPSコントローラー (続き)

▶ 警告:感電の危険。重傷または死亡に至る恐れがあります。ユニットを設置する場合は、事前に回路ブレーカーの電源を切ってください。

注記:既存のシステムを変更する場合は、事前に最寄りのLutron営業担当者に連絡して、サイトの準備状況とシステムのアップグレードスケジュールを確認して ください。

- 2 左側の取り付けブラケットを取り外します。ブラケットとネジは廃棄できます。
- 3 コントローラーの後ろから、2つの9mmナットと スターワッシャーを緩めて取り外します。
   注記:ナットとスターワッシャーは保存します。これらは、ステップ5で再度使用します。
- **4** コントローラーを上にスライドさせて、パネルの 前面から引き離して取り外します。
- 5 ネジ/スタッドを動かします。
- A 表面実装パネルの場合: ステップ3のネジ/スタッドを、レガシーパネルインター フェース取り付け穴に移動します。

ここでステップ3で取り外したスターワッシャーとナットを追加しますが、完全には締めません。

- B 埋め込み式パネルの場合: ネジ/スタッドは、移動する必要はありません。これらは、レガシーパネルインターフェースに干渉しません。 ステップ6に進みます。
- 6 クラス2 / PELV 24 V~ボルト配線を長くするため に、2芯延長線(付属)をレバーコネクタに取り付け てます。







# LCP/XPSコントローラー (続き)

▶ 警告:感電の危険。重傷または死亡に至る恐れがあります。ユニットを設置する場合は、事前に回路ブレーカーの電源を切ってください。

注記:既存のシステムを変更する場合は、事前に最寄りのLutron営業担当者に連絡して、サイトの準備状況とシステムのアップグレードスケジュールを確認して ください。





C

В

# LCP/XPSコントローラー (続き)

警告・感電の危険。重傷または死亡に至る恐れがあります。ユニットを設置する場合は、事前に回路ブレーカーの電源を切ってください。 Â

注記:既存のシステムを変更する場合は、事前に最寄りのLutron営業担当者に連絡して、サイトの準備状況とシステムのアップグレードスケジュールを確認して ください。

9	レガシーパネルインターフェースを、既存の配 線に接続します。	D
Α	クラス2/PELV 24 V~配線を、レガシーパネルインタ ーフェースに差し込みます。	
В	LINK1制御リンクハーネスをレガシーパネルインター フェースのLINK1ヘッダーに差し込みます。	
	<b>注記:</b> 既存のコントローラに制御リンクハーネスが2 つある場合、これはタグなしの制御リンクハーネスに なります。	
С	既存のコントローラーに制御リンクハーネスが2つある場合は、タグ付きのLINK2制御リンクハーネスをレガシーパネルインターフェースのLINK2へッダーに差し込みます。	A A A A A A A A A A A A A A
D	既存のコントローラーの6ピン通信端子台を、レガシ ーパネルインターフェースに差し込みます。	Control C
Е	非常スイッチを、ステップ1Eで記録したスイッチの位置と一致するように動かします。	



10

ます。

 $\bigcirc$ 

0000

# 既存のCircuit Selector

▶ ▶ 警告:感電の危険。重傷または死亡に至る恐れがあります。ユニットを設置する場合は、事前に回路ブレーカーの電源を切ってください。

ーー 注記:既存のシステムを変更する場合は、事前に最寄りのLutron営業担当者に連絡して、サイトの準備状況とシステムのアップグレードスケジュールを確認して ください。

1	既存のCircuit Selectorの配線を取り外します。	E/F	2:接続されていません
Α	クラス2/PELV 24 V~配線を切断します。		▶ D:接続されていま
В	Circuit Selectorの下部から、LINK1制御リンクハーネスを取り外します。	12345	
С	既存のCircuit Selectorに制御リンク ハーネス2つがある場合:		A) 000000 HAAAAA
	制御リンクが従来のパネルインターフェースに正しく 接続されるように、LINK2制御リンクハーネスにタグを 付けてます。	Link Status Power OK (Pins 1,2) Data OK (Pins 3,4) SELECT CITCUIT	
	既存のCircuit Selectorから、LINK2制御リンクハーネスを取り外します。	Circuit	
D	スイッチ(S1)の位置を記録します。これは、ステップ8E で使用します。	View Value Select Value	
Е	6ピン通信端子台を配線します。	3	
	「2」制御線を取り外して、キャップをします。「2」端子 は、レガシーパネルインターフェースの6ピン通信ブロ ックに接続しないでください。	Value SELECT VALUE DISPLAYED Load Type	
F	残りの各制御線を1本ずつ取り外して、6ピン通信端子 台(付属)の対応する開口部に挿入します。	Sinchag M Shoodm     Sinchag M Shoodm     Sinchag     Sinchag     Sinchag     Sinchag     Using Zone Capture	
	<b>注記:</b> 「D」端子をスキップします。 ピン3 と4の間にリンク ターミネータ (LT-1) がある場 合は、取り外して廃棄します。	CangZaneCopure     Low End Trim (optional)     High End Trim (optional)     Circuit Level	
		LUTRON	

#### ここをクリックして、次のページで既存の Circuit Selectorの交換を続行します…

D

B

ます。

### 既存のCircuit Selector (続き)

▶ 警告:感電の危険。重傷または死亡に至る恐れがあります。ユニットを設置する場合は、事前に回路ブレーカーの電源を切ってください。

注記:既存のシステムを変更する場合は、事前に最寄りのLutron営業担当者に連絡して、サイトの準備状況とシステムのアップグレードスケジュールを確認して ください。



 $\langle \mathbf{O} \rangle$ dil 0 0 0 0 3 IJ 0 С  $\bigoplus$ 0 0 đ  $\odot$  $\oplus$ 23 0 0

ここをクリックして、次のページで既存の Circuit Selectorの交換を続行します…

### 既存のCircuit Selector (続き)

します。

警告:感電の危険。重傷または死亡に至る恐れがあります。ユニットを設置する場合は、事前に回路ブレーカーの電源を切ってください。 Â

注記:既存のシステムを変更する場合は、事前に最寄りのLutron営業担当者に連絡して、サイトの準備状況とシステムのアップグレードスケジュールを確認して ください。

2	装置をパネルの側面から引き離して、Circuit
<b>J</b>	Selectorを取り外します。



ここをクリックして、次のページで既存の Circuit Selectorの交換を続行します…

# 既存のCircuit Selector (続き)

▲ 警告:感電の危険。重傷または死亡に至る恐れがあります。ユニットを設置する場合は、事前に回路ブレーカーの電源を切ってください。

注記:既存のシステムを変更する場合は、事前に最寄りのLutron営業担当者に連絡して、サイトの準備状況とシステムのアップグレードスケジュールを確認して ください。

4	ステップ3で取り外したスターワッシャーとナット を元に戻しますが、完全には締めません。
5	レガシーパネルインターフェースを取り付け溝の 左側にあるステップ5の緩いナットとスターワッシ ャーを備えたネジ/スタッドの上に置いて、レガシ ーパネルインターフェースを取り付けます。次に、 レガシーパネルインターフェースを下にスライド させます。
-	

<sup>6</sup> ステップ5で交換した 9 mm ナットとスターワッシャーの両方を締め付けます。



ここをクリックして、次のページで既存の Circuit Selectorの交換を完了してくださ い...

### 既存のCircuit Selector (続き)

▶ 警告:感電の危険。重傷または死亡に至る恐れがあります。ユニットを設置する場合は、事前に回路ブレーカーの電源を切ってください。

7	レガシーパネルインターフェースを、既存の配 線に接続します。
-	

- A クラス2/PELV 24 V~配線を、レガシーパネルインタ ーフェースに差し込みます。
- B LINK1制御リンクハーネスをレガシーパネルインタ ーフェースのLINK1ヘッダーに差し込みます。

注記:既存のコントローラに制御リンクハーネスが2 つある場合、これはタグなしの制御リンクハーネスに なります。

C コントローラに制御リンクハーネスが2つある場合:

タグ付きのLINK2制御リンクハーネスを、レガシーパ ネルインターフェースのLINK2ヘッダーに差し込みま す。

- **D** 6ピン通信端子台をレガシーパネルに差し込みます。
- E 非常スイッチを動かして、ステップ1Dで記録したスイ ッチの位置に合わせます。



8 Lutron UA-CS-LXラベル(付属)を、レガシーパネ ルインターフェースカバーにある既存のラベル の近くに貼り付けます。



#### Athena

#### UA-CS-LX

# **Circuit Selector II**

**警告:**感電の危険。重傷または死亡に至る恐れがあります。ユニットを設置する場合は、事前に回路ブレーカーの電源を切ってください。

注記:既存のシステムを変更する場合は、事前に最寄りのLutron営業担当者に連絡して、サイトの準備状況とシステムのアップグレードスケジュールを確認して ください。

1	既存のCircuit Selectorの配線を取り外します。	D A F
Α	クラス2/PELV 24 V~配線を切断します。	
В	Circuit Selectorの左下から、LINK1制御リンクハーネスを取り外します。	
С	既存のCircuit Selectorに制御リンクが2つある場合:	<b>\$</b>
	制御リンクが従来のパネルインターフェースに正しく 接続されるように、LINK2制御リンクハーネスにタグを 付けてます。	
	既存のCircuit Selectorから、LINK2制御リンクハーネスを取り外します。	
D	既存のCircuit Selectorから、6ピン通信端子台のプラ グ(LINK A)を抜きます。	
Е	スイッチ(S1)の位置を記録します。これは、ステップ7E で使用します。	Circuit ▼ VIEW VALUE
F	LINK Bコネクタがある場合は、既存のCircuit Selector から抜きます。	Link A 3
	<b>注記:</b> レガシーパネル インターフェースには、同等の LINK B入力がありません。詳細については、最寄りの Lutron営業担当者またはシステム営業エンジニアに お問い合わせください。	Link B Value SELECT VALUE DISPLAYED Circuit Level Load Type (See Instructions)
		Zone Assignment w/ Circuit Schedule     Zone Assignment w/ Zone Capture™
		Low-End Trim High-End Trim
		Address ('Ad' displayed) LUTRON
		Load Type Quick Reference:
		Unassigned 3-1 Neon / CC Ω 1-1 Incandescent -β; 4-1 Non-Dim →
		2-1 Fluorescent Lutron Hi-lume. FDB Ballast 2-2 Fluorescent Lutron Tu-Wire <sup>™</sup> Ballast

### ここをクリックして、次のページでCircuit Selector IIの交換を続行します…

### **&LUTRON**

귀문

C

B

F

# Circuit Selector II (続き)

▶ 
 警告:感電の危険。重傷または死亡に至る恐れがあります。ユニットを設置する場合は、事前に回路ブレーカーの電源を切ってください。

注記:既存のシステムを変更する場合は、事前に最寄りのLutron営業担当者に連絡して、サイトの準備状況とシステムのアップグレードスケジュールを確認して ください。

2	ネジ/スタッドから取り外さずに、Circuit Selector の後ろにある2つの9mmナットを緩めます。
3	Circuit Selectorを上にスライドさせてから、パネ ルの前面から引き離して取り外します。



ここをクリックして、次のページでCircuit Selector IIの交換を続行します…

# Circuit Selector II (続き)

▶ ▶ 警告:感電の危険。重傷または死亡に至る恐れがあります。ユニットを設置する場合は、事前に回路ブレーカーの電源を切ってください。

注記:既存のシステムを変更する場合は、事前に最寄りのLutron営業担当者に連絡して、サイトの準備状況とシステムのアップグレードスケジュールを確認して ください。



5

9 mm ナットとスターワッシャーの両方をしっかり と締めます。



6 ステップ1Dの6ピン通信端子台から、「2」と「D」の ワイヤーを取り外してキャップします。レガシーパ ネルインターフェースの6ピン通信端子台の「2」 端子と「D」端子は、接続しないでください。
注記:ピン3と4の間にリンクターミネータ (LT-1) があ る場合は、取り外して廃棄します。

ここをクリックして、次のページでCircuit Selector IIの交換を完了してください…



交換用 Circuit Selector

## **UTRON**

# Circuit Selector II (続き)

▶ ▶ 警告:感電の危険。重傷または死亡に至る恐れがあります。ユニットを設置する場合は、事前に回路ブレーカーの電源を切ってください。

ーー 注記:既存のシステムを変更する場合は、事前に最寄りのLutron営業担当者に連絡して、サイトの準備状況とシステムのアップグレードスケジュールを確認して ください。

- 7 レガシーパネルインターフェースを、既存の配線に接続します。
- A クラス2/PELV 24 V~配線を、レガシーパネルインター フェースに差し込みます。
- B Circuit SelectorからのLink1制御リンクハーネスをレガシーパネルインターフェースのLink1へッダーに差し込みます。

注記:既存のコントローラに制御リンクハーネスが2つ ある場合、これはタグなしの制御リンクハーネスになり ます。

- C Circuit Selectorに制御リンクハーネスが2つある場合: タグ付きのLINK2制御リンクハーネスを、レガシーパネ ルインターフェースのLINK2へッダーに差し込みます。
- ステップ1Dの6ピン通信端子台(LINK A)をレガシーパネルインターフェースに差し込みます。
   注記:ピン3と4の間にリンクターミネータ (LT-1) がある場合は、取り外して廃棄します。
- E 非常用スイッチを、ステップ1Eで記録したスイッチの 位置と一致するように動かします。



8 Lutron UA-CS-LXラベル(付属)を、レガシーパネ ルカバーにある既存のラベルの近くに貼り付け ます。



### ローカルオペレーション

レガシーパネルインターフェースの設定とプログラミングは、Athenaプログラミングソフトウェアを介して行われます。ローカルボタンは、システムの有効化とローカルパネルの制御を目的としています。

#### Control Linkボーレート

#### ボーレートの表示

- こんにちは1:QS LEDが、ゆっくり点滅します(2秒間点灯した後、2秒間消灯)
- こんにちは2:QSおよび③ LEDインジケータが、ゆっくり点滅します(2秒間点灯した後、2秒間消灯)

#### ボーレートの変更

- ・ ♀ ボタンを2秒間押し続けて、ボーレート選択モードに入ります。装置がボーレート選択モードに入ると、<sup>①</sup>および QS LEDが交互に点滅し始めます。
- 🌣 ボタンを押して、ボーレートを切り替えます。

### パネルスイッチのレグの出力をオーバーライドする1

- ・ ◎ ボタンを2秒間押し続けて、ローカル負荷制御モードに入ります。装置がローカル負荷制御モードに入ると、③および QS LEDが交互に点滅し始めます。
- ● ◎ボタンを押して、プリセットの各負荷レベルを切り替えます。 <sup>①</sup> LED の点滅数は、負荷制御サイクル内の位置を 指定します:1、2、3、または 4。
  - A. 未構成、および切り替え可能なスイッチレッグのプリセットサイクルは、(1)100%、(2)100%、(3)100%、および (4)0%です。

B.構成された調光スイッチレッグのプリセットサイクルは、(1)1%、(2)50%、(3)100%、(4)0%です。

🎍 💩 ボタンを押し続けて、ローカル負荷制御モードを終了します。

注記:30秒間ローカルボタンの操作がない場合、装置はローカル負荷制御モードを終了します。

負荷制御サイク		光レベル	
ル		A	В
1	1	100%	1%
2	2	100%	50%
3	3	100%	100%
4	4	0%	0%

1 モーター負荷は、ローカルボタンで上書きすることはできません。

# トラブルシューティング

症状	その他の情報	アクション
ローカルボタンは負 荷を制御しません。	Ů LED:消灯	装置の電源端子に、電圧があることを確認します。
(i) QS (1)	装置は、ローカル負荷制御モードに入るこ とができます。	<ul> <li>制御リンクの配線を確認します。</li> <li>制御リンクのボーレートを確認します。</li> <li>注記:ローカルで設定されたボーレートは、システムプログラミングソフトウェアで構成されたボーレートで上書きされます。</li> <li>負荷が、ローカルで制御できることを確認します。モーター負荷はローカルで制御しないでください。</li> <li>調光/スイッチングモジュールの機能を確認します。</li> <li>負荷機能を確認します。</li> </ul>
	④ LED:毎秒5回点滅(100ミリ秒点灯と100 ミリ秒消灯)	<ul> <li>非常スイッチの位置が正しいことを確認します。</li> <li>注記:通常、非常スイッチは、前のコントローラーの非常スイッチと同じ位置にある必要があります。</li> <li>SENSE端子の配線を確認します。</li> </ul>
	<ul> <li>□ LED:毎秒2回点滅(250ミリ秒点灯と250 ミリ秒消灯)</li> </ul>	<ul> <li>手動オーバーライド配線を確認します。</li> <li>Lutronカスタマーサポートにお問い合わせください。</li> </ul>
	<ul> <li>③LEDと QS LED:毎秒3回点滅(150ミリ秒 点灯と150ミリ秒消灯)</li> </ul>	装置を交換する必要があります。Lutronカスタマーサポートにお問い合わせください。
	<ul> <li>③LEDと QS LED:毎秒5回点滅(100ミリ秒 点灯と100ミリ秒消灯)</li> </ul>	装置を交換する必要があります。Lutronカスタマーサポ ートにお問い合わせください。
ローカル負荷制御 は、負荷の有効と無効 を切り替えることしか できません。	なし	<ul> <li>ローカル負荷制御によって、負荷を暗くできることを 確認します。ローカル負荷制御による調光は、システム プログラミングソフトウェアで構成された調光可能な 負荷のみで可能です。</li> <li>調光/スイッチングモジュールの機能を確認します。</li> <li>負荷機能を確認します。</li> </ul>
装置を有効化できま せん。	なし	QS Linkの配線を確認します。
システムは、負荷を制 御できません。	QS LED:点灯	<ul> <li>システムプログラミングソフトウェアで負荷が正しく構成され、装置に転送されたことを確認します。</li> <li>システムプログラミングソフトウェアでボーレートが正しく構成されていることを確認します。</li> <li>システムソフトウェアの調光/スイッチングモジュールのアドレスがモジュールのアドレスと一致していることを確認します。</li> <li>負荷が装置によってローカルで制御できることを確認します。</li> </ul>
	<b>QS</b> LED:消灯	<ul> <li>QS LINKの配線を確認します。</li> <li>負荷が装置によってローカルで制御できることを確認します。</li> </ul>
システムは、負荷の有 効と無効を切り替える ことしかできません。	なし	GPカード/モジュールが、システムプログラミングソフト ウェアで正しく構成されていること、そしてそれらが装置 に転送されていることを確認します。

# お問い合わせ

#### 保証

保証情報については、次のWebサイトをご覧ください:www.lutron.com/TechnicalDocumentLibrary/3601201A\_Commercial\_Limited\_Warranty.pdf

Lutronのロゴ、Lutron、およびAthenaは、米国およびその他の国におけるLutron Electronics Co., Inc.の商標または登録商標です。 すべての製品名、ロゴ、ブランドは、それぞれの所有者に帰属します。

© 2024 Lutron Electronics Co., Inc.

#### Lutronの連絡先番号

世界本部 米国 Lutron Electronics Co., Inc. 7200 Suter Road Coopersburg, PA 18036-1299 電話:+1.610.282.3800 ファックス:+1.610.282.1243

support@lutron.com

www.lutron.com/support

**南北アメリカ** カスタマーアシスタンス 米国、カナダ、カリブ海諸国: 1.844.LUTRON1 (1.844.588.7661) メキシコ: +1.888.235.2910 中南米: +1.610.282.6701 英国とヨーロッパ: Lutron EA Limited 51 Lime Street, 3rd floor London EC3M 7DQ イングランド 電話:+44.(0)20.7702.0657 ファックス:+44.(0)20.7480.6899 フリーダイヤルレ(英国):0800.282.107 テクニカルサポート:+44.(0)20.7680.4481 lutronlondon@lutron.com **アジア:** Lutron GL Ltd. 390 Havelock Road #07-04 King's Centre Singapore 169662 電話:+65.6220.4666 ファックス:+65.6220.4333 テクニカルサポート:800.120.4491 lutronsea@lutron.com

**アジアテクニカルホットライン** 中国北部:10.800.712.1536 中国南部:10.800.120.1536 香港:800.901.849 インドネシア:001.803.011.3994 日本:+81.3.5575.8411 マカオ:0800.401 台湾:00.801.137.737 タイ:001.800.120.665853 その他の国:+65.6220.4666

**UTRON**